



善行中 学校だより 10月

2020年(令和2年)度

藤沢市立善行中学校 学校だより

校長 小林 秀夫

「皆さんは『善行』が好きですか？」

着任したころ、校舎から周囲を眺めた時の感動を思い出します。周囲には広がる畑地、遠くには丹沢山地、富士山の見事な姿が眺望できる。

みなさんは、善行地区に対して何を思い、生活しているのでしょうか？

善行在住ではない私ですが、次のように思っています。善行は「里山」という「ひと」の営みと「自然」が共存しているところ。それは「ひと」と「自然」が助け合っているところだと考えています。また、言い方を変えると「ひと」が「自然」を困らせない範囲で住まわせてもらったり、作物を作らせてもらったり。逆に伐採等、「ひと」が「自然」に手を加えて、荒地地にならないようにするなど、助け合いながらバランスよく、長い間付き合ってきた関係だと思えます。

ですから、記憶の中にある教員なりたての頃の善行と周囲の景色は変わっていません。それは大変素晴らしいことだと思います。



さて、里山の中に建つ学校、善行中学校に集う生徒のみなさん。善行中学校が好きですか？友達や生徒全体を考えたとき、「チーム善行中」が好きですか？「ひと」ではなくグラウンドや校舎、教室はどうでしょう？古い建物、土地ですが、1日の大半を過ごす「この場所」に愛着をもって生活していますか？いや、好きでもなく、愛着を持っていないくとも、大勢の「ひと」たちが過ごす「こ

の場所」を大切にしていますか？

善行地域が「ひと」と「自然」がよい関係で共存しているように、善行中学校の「生徒(ひと)」と「校地内施設(校舎等)」の関係はいかがでしょうか？私は善行中に着任したとき、「古いけれど、手をかけて大切に使われている校舎だな」と思いました。それだけで、ここに集う生徒がどんな子供たちなのか想像できたくらいです。(今でも、すてきな生徒たちだと確信しています。)

しかし、先月から南棟校舎の壁等が落書きされ、きれいに消しても繰り返される状況です。これは犯罪です。(軽犯罪法違反等)私は、いけない行為から考えられる大きな心配をしています。「落書きをした人はどんな気持ちで生活しているのだろうか。表現できないモヤモヤや、いらだちが胸の中にいっぱいなのだろうか」など……。書いた理由よりも、心の状態を心配しています。

みんなが安心して楽しく過ごすことができる環境は、校舎が汚されていないことも大切なことのひとつだと思います。校舎を大切にすることで、皆さんや私たち職員が快適に過ごせる空間に変わります。その校舎を傷つけることは、自分の心身を傷つけられた感覚に近いものを覚える人もいます。そして落書きした人も他の皆さんも、自分で理由に気付かなくとも、相当心に負担がかかっている人もいます。思いを伝えたかったら周囲を傷つける発信ではなく、誰かに話しましょう。周囲を困らせない範囲であれば、人に頼ったり、甘えたりしても良いと思います。

助け合いながら互いの関係をバランスよくしていくことで、深く信頼できる、本来望んでいる良好な人間関係になると信じています。

ずっと変わらない善行の景色と同じように。



「タブレットがやってきた」



9月5日、全生徒数のタブレットが届きました。そして9月14日には各クラス生徒分用の充電器ボックスが届きました。(写真)充電した後は、各自で起動、シャットダウンまでの操作確認をしてから、授業で使うソフトの使い方を学び、準備をしました。生徒たちは覚えるのが速いです。サクサクと授業で使い始めています。



この機種は起動が速く、丈夫で教材ソフトをインストールする手間もありません。サイズはA4版ほど。使いやすいです。休校対応での使用は、学習向上に向けた「活用」となるように工夫していきます。

「校内研究授業英語科」2年 藤沼教諭

「充電器ボックス」→

早速、2年生英語科で藤沼先生がタブレットを使った研究授業を行いました。思いついたことを入力して、画面上で共有できるツールを使用して、目当てとする学習の習得をグループで迫るものでした。



アナログ版のイメージとしては模造紙に書き込んで付箋を貼ったり、色分けしたり等の作業を画面上でやる感じです。英語で入力するため、生徒たちは辞書やPCでの検索もしながら主体的に取り組んでいました。

活用の仕方は無限大です。しかし、前号で触れた「教育には余白が必要だ」という考えも失わずに取り組みたいです。

「全校評議会」

9/15(火)全校評議会が行われました。各学年・学級の課題を共有し、他クラス、他学年からアドバイスをもらうスタイルで会議は進行していました。

感心したのは3年生の姿でした。議事進行は手際よく、キビキビとしていて、かつ発言を求めるときの巧みさ、発言の内容、話し方など後輩たちの見本となっていました。

課題を共有し、自分たちで乗り越えていこうという姿勢は、これまでの善行中を支え、これからの善行中を創っていくのだと感じました。

「ここに 学ぶ ここに はげむ ここに 集う 善行中学校」



「合唱コン練習開始」

9/30(水)より合唱コンクールの練習が始まりました。1年生の練習をのぞいてきました。実行委員が前に立っての説明をクラス全体でよく聞いていました。また、パート別に分かれての練習も初日、しかも初の取り組みであるのに、よく出来ていました。期間は短いですが期待できます。感染症防止対策としては距離をとり、マスク着用(ワイヤー入りを購入配付)での練習。また、フェイスガードも準備しました。

授業の一環として注意を払って進めて参りますので、ご理解の程よろしく願いいたします。



「Zenlympic 練習」

9 / 23 (水) に予定されていた3年生のレクリエーション大会、名付けて「善リンピック」が雨天のため延期となりました。

事前練習には力が入っていて、笑顔と楽しんでいる声がグラウンドいっぱいにひろがっていました。長い棒を3人で持った状態で走る「通称：タイフーン」では「練習なんていらないよ」という声が聞こえていましたが、実際は苦戦していました。担任から「やはり、練習がいるだろう!」とされている姿などを楽しんで見ました。本番もいいけれど、練習があるから楽しいのですね。



「Zenlympic 本番」



開催予定3日目の10月8日(木)も雨。しかし、盛り上がりは最高のレク大会となりました。

種目を重ねるにつれ、声援、拍手が大きくなり、そして勝負どころでは歓声も高くなり、体育館での行事がこれだけ活気に満ち溢れたものになるとは驚きでした。3年生の競技、準備など的確、迅速で素晴らしかったです。



「選手宣誓」

学年が一体になり、明るい笑顔、声、動きが素敵でした。思い出に残るイ

「快晴祈願ポスター」 ベントとなったのではないかと思います。



障害物競走、玉運び



障害物競走、くじ種目



大声対決 (叫ぶ担当)



大声対決 (聞く担当)



タイフーン 1組対2組



タイフーン 3組対4組



じゃんけん列車



玉入れ 1組対2組



玉入れ 3組対4組



大縄



タイマン綱引き



表彰式

「11月 主な予定」

4日(水)～6日(金)	3年後期試験	12日(木)	全校評議会	1～3年	歯科検診
10日(火)	一斉委員会	19日(木)・20日(金)		1, 2年後期試験	

「2020年度 新人大会」

先月9月より、テニス部を皮切りに藤沢市中学校体育連盟主催の新人大会が行われています。来週以降も週末は各部活の大会が開催されます。

本大会も「交流戦2020」と同様に選手大会関係者以外、保護者、地域の方々の観戦は感染症対策の一環としてご遠慮いただきますよう協力お願いいたします。

次は各会場でのスナップです。(回りきれなかった会場がありました。申し訳ございません。)



「卓球女子個人戦」



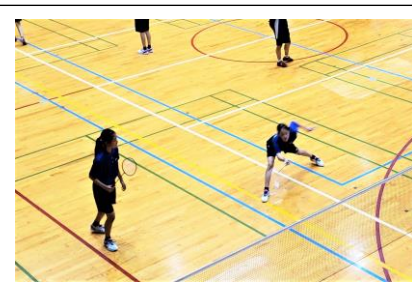
「卓球男子個人戦」



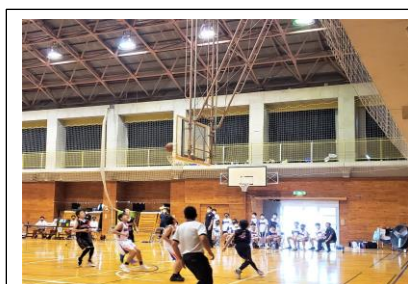
「バドミントン女子個人戦」



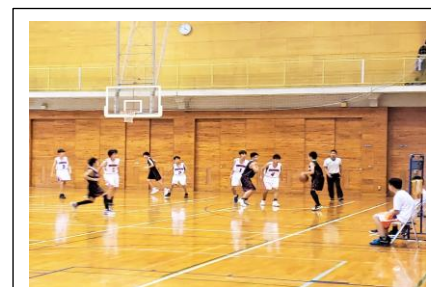
「バドミントン男子個人戦」



「バドミントン女子ダブルス」



「バスケット男子対鶴沼1」



「バスケット男子対鶴沼2」



「善中+御中野球部対湘洋1」



「善中+御中野球部対湘洋2」

「修学旅行返金について」

修学旅行の中止につきましては、3年生のご家庭には説明会にて、全校には9月学校だよりでお知らせいたしましたが、中止に伴う費用の返金については、お知らせせずにいましたことお詫び申し上げます。

つきましては、ご家庭に負担をかけない方向で教育委員会と調整しております。具体としてはキャンセル料の扱い等で返金の準備ができない状況です。旅行中止に加え、返金の遅延についてまで、ご迷惑をおかけしますこと併せておわび申し上げます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

不明な点がございましたら、学校（教頭）までお問い合わせください。